

メンバーさんのここだけの話 part1

PN:きつねさん

がんじゅ歴:7 カ月

今の目標は生活のリズムを整えることと自分の殻を破ることです。がんじゅは時に厳しいこともありませんがそれが自分の糧になっています。

リラクゼーションの時には和気あいあいでもごしメリハリがあると思います。

PN:ぷーさん

がんじゅ歴:5 カ月。

今はまだまだ、自分を探している途中です。

就労移行と言えば就職する為の勉強場所だと思っていたのですが、人間として成長させてもらえる場所だと感じました。

PN:しまさん

がんじゅ歴:2 カ月。

できるだけ休まず継続して行くことを目標にしています。

前にいたB型よりかは継続する力がついてきたかなと思います。



PN:本

がんじゅ歴:1 ヶ月

言葉を出して話す。できるだけ毎日がんじゅに来ることを目標にしています。しゃべることが苦手でその苦手な部分を練習できるのでよかったです。

PN:おさるさん

がんじゅ歴:6 か月

自分の病気についてもっと詳しく勉強したいと思っています。がんじゅの印象は(職員が)にぎやかです。作業中はテキパキ、リラクゼーションや休憩中はガラッと変わりメリハリがあります。

福祉施設の利用が初めてで自分のいる場所ではないと思っていたけど一度話してみたらとてもリラックスできる、過ごしやすい場所でした。

一人一人の個性がありいつまでいても飽きないような気がする。これからはもっといろんな実習や新たな挑戦をしようかな?と歩み始めています。

PN:うなぎ

がんじゅ歴:1 週間

自分の障害の理解、基本的な生活リズムの改善、良いコミュニケーションを取れることを目標にしています。

まだまだ毎日緊張し何してもアワアワしていますががんじゅの雰囲気は自分にはあっていると思います。

発行元/お問い合わせ先

株式会社 TNS カンパニー

就労移行支援事業所 がんじゅ

〒660-0883

尼崎市神田北通 1-7-1 阪神尼崎駅前第 29 ビル 8 階

TEL 06-6430-2355

✉ ganju@tnscompany.co.jp

URL <http://www.tnscompany.co.jp>

このニュースレターは、「がんじゅ」での就労準備訓練の一環として発行しています。パソコン入力、電話応答、報告・連絡・相談などのビジネススキルに関連した日々の訓練成果を実践するプログラムとして、取材から編集入力、発行まで「がんじゅ」所属のメンバーさんによって行われています。

見学者等、随時 募集中！！

News Paper
GANJU.COM

(がんじゅ ドットコム)

就労支援の現場から

創刊号 平成 30 年 5 月 1 日



就労移行支援事業所 がんじゅ は 移転します！！

がんじゅからのお知らせ

特集：多機能な支援へ！

「がんじゅ」は今年、開所から3年目を迎えるに当たり、密に連携するクリニックやデイケアが入るビルに移転いたしました。

これにより、同ビル内にはクリニック、デイケア、就労継続支援B型、就労移行支援が入ることになり、より一体的に、途切れのない支援が可能になります。

各分野の専門職が利用者さんのニーズに合わせて、適切な役割を担うことができると確信しています。

阪神尼崎における障がい者支援に厚みを持たせ、とりわけ就労支援の拠点となるよう、新たな支援プログラムを用意し、意欲ある皆様をお待ちしております。



お花見に行ってきました。



移転先

〒660-0883

尼崎市神田北通 1-7-1 阪神尼崎駅前第 29 ビル 8 階

阪神尼崎駅から北へ徒歩 5 分

駅前広場を 2 号線方面へ進み、交番前の歩道を渡ってすぐ右側。

ひとつのビルで多機能な支援へ！ 医療法人社団 上枝診療所 あまなクリニック 院長 西藤直哉 氏 × 齊藤 (メンバー)



30年以上続いた上枝診療所を引き継ぎ、あまなクリニックとして新たなチャレンジを行う西藤院長に突撃訪問！

複合的な支援が可能なビルに込めた、精神科医の思いへ、同ビル内にある就労移行支援事業所にて訓練中のメンバーが迫ります。

診療室にとどまらないケアと就労支援について、ビルのリーダーと就労を目指し訓練を受ける者との対談で見える未来とは？！

メンバーの齊藤さんがインタビュアー、栗山くんがカメラマン、職員の増田がサポートとして3人で伺いました。

最初は緊張気味の3人でしたが、西藤先生の神対応で時間も忘れて色々ゆっくり聞きました。

がんじゅ齊藤さんがあまな西藤先生に突撃インタビュー

Q1. 色々な科がある中でなぜ精神科のお医者様を選ばれたのですか？

A . 一番患者さんに近い距離で診療ができるから。例えば外科なら患者さんの意識はない。

腕の良し悪しも決まってしまうし。精神科なら大きな大学病院で治せない患者さんでも治せるかもしれない。相性もあるしね。

Q2. 患者さんの中で働いている人はどれくらいいますか？

A . だいたい3人に1人くらいかな。主婦の人を働いている人と数えるかによって変わってくると思うけど。

Q3. それでは働きたいと思っている患者さんはどれくらいいると思われませんか？

A . 働きたいと思っている人は多いと思うけど、どれくらい具体的に切実に考えているかによって違ってくるので、正確な答えは難しいかな。例えば生活保護をもらっている人で働きたいと思っても、生活保護がなくなることへの不安からなかなか一歩を踏み出せないとか。

Q4. 病気をもちながら働くのに何が重要だと思われませんか？

A . もちろん能力はあるだろうけど、やっぱり働きたいという気持ちかな。それから病気があるとかないとかに関わらず体調管理は大切だと思うよ。すぐに風邪をひいて休んでばかりでは困るよね。

Q5. Dr. の立場から働き続けるために何かアドバイスがありますか？

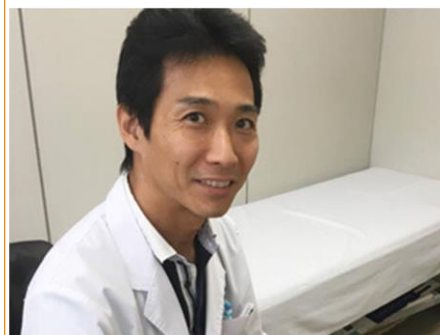
A . 相談する相手や場を持つこと。自分だけでは分からないことも多いだろうし、困った事、しんどい事を言えることが大事。案外自分ではわからなくても周りの人は気が付いていることもあるので、自己認識と他人からの評価やアドバイスの違いを聞き入れることで道が拓けることもある。体調に関してもそういうことはあると思うよ。

Q6. 受診時にDrへの伝え方のコツとかありますか？

A . ざっくりしんどいと言われても分かりにくい。しんどいと感じることを具体的に教えてほしい。その理由もあればアドバイスもしやすい。就労移行支援の職員に相談してみたらというように相談先の割り振りや促しもできると思うよ。症状や病気に関係ないと思わずに、どんなふうにしんどいのか教えてくれるとわかりやすいので遠慮せず何でも話してほしい。

Q7. 同じビルに施設とクリニックとデイケアがはいっていることのメリットは何だと思われませんか？

A . 利用者も支援者も距離が近くなってコミュニケーションがとりやすくなった。距離が近いと心も近くなるよね。見学会とか体験会とか何かしら気軽に交流できる仕掛けを定期的にやってほしいと思ってる。



Q8. 私たち支援者に先生から注文はありますか？

A . もっと色々聞いてくれてもいいのに、と思っている。デイケアのなかでの就労支援はどんどんやってほしい。困っていることや、やりたいこと、現状をもっと教えてほしい。直接相談してくれてもかまわない。

Q9. がんじゅには療育手帳の利用者もいて精神科に通っていない人もおられますが、デイケアの利用はできますか？

A . 一度診察を受けてもらうことにはなるけど利用は可能。症状は明確になくてもデイケアが有効な場合は多い。症状や病名にとらわれず、その人の生きづらさが減って楽しく暮らしていけるように、色々な対応ができるデイケアでありたいと思っている。

Q10. 統合失調症や躁うつ病で完治した患者さんはいますか？

A . 何をもって完治というのかってことなんだけど…。例えば薬を飲まないことが完治でそれを目標にしている人もいるけど、僕は薬を飲んでいても楽しく過ごせる方がいいと思っている。副作用ですごくしんどいのは嫌だけど、飲んでいても困らない程度の量の薬を飲んで、働いたり快適な日常生活を送れるならその方がいいと思うよ。みんな健康のために喜んでサプリメントを飲むのに、どうして精神科のお薬はそんなにいやがるのかなあ。

Q11. 利用者の中には、死にたい、消えてしまいたいという希死念慮が強い人がいます。そんな思いとは一生付き合っていかなければならないと思われませんか？

A . それには波があるはずだよ。ずっとMAXな状態であるはずはないし、誰でも少しは思うかもしれない。ずっと付き合うのかと聞かれれば、ずっと付き合ってもらわなければならないという答えになるけど、その部分だけにこだわらなくてもいいと思うよ。雨の降らないことがないのと一緒。上手に付き合っていきたい。

医師としての役割はもちろん、それにも増して障がい者のサポーターという熱い想いが伝わってきます。遠回しの無難な言葉ではなく、はっきりと心に刺さる言葉がインタビュアーへも届きました。今まで気になっていたけど、聞けなかったことをストレートに回答してくれ、一歩前へ進めた様子でした。

がんじゅ はこれからも医療とも近い福祉サービスとして、安心感のある支援を提供していきます。

メンバーさんたちの感想

齊藤さん：主治医とは違う先生のお話が聞いて良い体験ができました。

こんな機会を頂けて感謝しています。ありがとうございました。

栗山くん：自分は病気がわからないけどサボリ病があるのでもっと自分のことを知りたいと思いました。

デイケアにも行ってみたいです。

西藤先生本当にありがとうございました。